

国立大学法人東京海洋大学の中期計画の変更について

国立大学法人東京海洋大学の中期計画の一部を変更し、令和3年3月18日付けで認可されましたので、公表します。

令和3年3月23日

<変更の概要>

練習船2隻を譲渡するため、中期計画の一部を変更しました。

国立大学法人東京海洋大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋科学部附属練習船1隻（東京都中央区 神鷹丸 649 トン）を譲渡する。 ・ 藤が岡宿舎の土地及び建物の全部（神奈川県藤沢市藤が岡 3-24、土地：4,398.85 m²、建物：3,463.2 m²）を譲渡する。 	<p>Ⅷ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋科学部附属練習船1隻（東京都中央区 神鷹丸 649 トン）を譲渡する。 ・ 藤が岡宿舎の土地及び建物の全部（神奈川県藤沢市藤が岡 3-24、土地：4,398.85 m²、建物：3,463.2 m²）を譲渡する。 ・ <u>練習船2隻（東京都中央区 汐路丸 425 トン、東京都港区 青鷹丸 170 トン）を譲渡する。</u> 	<p>当該船舶はともに建造から 33 年が経過しており老朽化が著しく、実習や調査航海等で十分な対応ができない状態にある。</p> <p>また、現在建造中の「汐路丸」代船（令和 3 年 6 月竣工予定）では、汐路丸及び青鷹丸の機能を統合した新船となり、当該船舶の譲渡による業務運営上の支障は生じないため、譲渡が適切と判断した。</p>